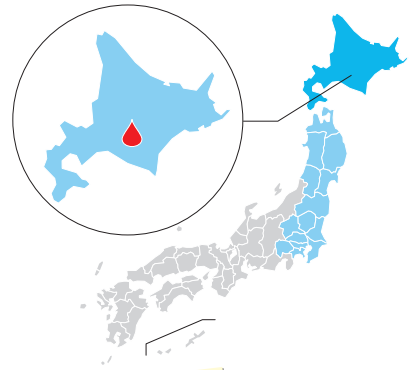


子どもと大人が協働して水環境の再生を目指そう！

ウォーターリバイバルプラン 「親水塾」ゴールド・アイス

団体名 **ぱんぱんぱんぷきん**

主な活動地域 **北海道河東郡士幌町中士幌**



目的

士幌町は日本有数の畑作地帯。大型農業機械による耕作を楽にするようにと排水路を深くするなど、農地の乾燥化を過度に進めてきた。その結果、身の回りから小川も湿地も消え、水生動植物も姿を消した。当プロジェクトは未来を担う子ども達と大人が協働して「親水塾」事業を実施し、士幌町の歴史と文化を学び、生活に根ざした水環境の再生と、水が育む豊かな文化の創造を目指す。

実施内容

子育て・児童支援及び環境学習センター「遊～遊～村」を拠点に、子ども達とともに活動する。一時は絶滅の危機に瀕した水生魚類を守るために、川環境の整備を行う。慢性的な敷き藁不足に悩む肉牛生産農家に対しては、廃材をおがくず化して敷き藁として利用し堆肥化する技術で、家畜糞尿による地下水汚染を防ぐ方法を広める。また、スノーシェルターで雪氷を夏まで保存し、冷房のエネルギーにする「ゆきんこ冷房システム」はすでに中士幌町児童ステーションの全館冷房システムとして実用化、ゆくゆくは農産物貯蔵庫への応用を想定するなど、水環境の課題を解決するエコ農業の方向へ着実に歩を進めている。

選考委員のひとこと

私たちが思い描くのは、緑いっぱいの北海道。しかし、現地は農業ありきの耕作が自然を壊し、子ども達は遊び場もない。おいしいじゃがいも・とうもろこしの陰で生きる人々の苦勞を痛感した。(余談)活動拠点の帯広の名物は？ 豚ドン。「豚ドンのタレ」が各所で売られていた。

TOTO 販売推進部 |さん記



ボランティアに参加しよう！

★遊～遊～村 村づくりワーキングキャンプ
音更川での親水塾(日本ザリガニ等保護)

2008年10月

★水の文化講演会開催

(ゆきんこ冷房システム普及講座)

2008年11月

★「光れピカ玉」つくり出張講座

2008年11月

★河畔林で落ち葉集め(堆肥作り)、

廃材オガクズ農家配布

2008年12月

★「ゆきんこ冷房システム」雪氷つめ

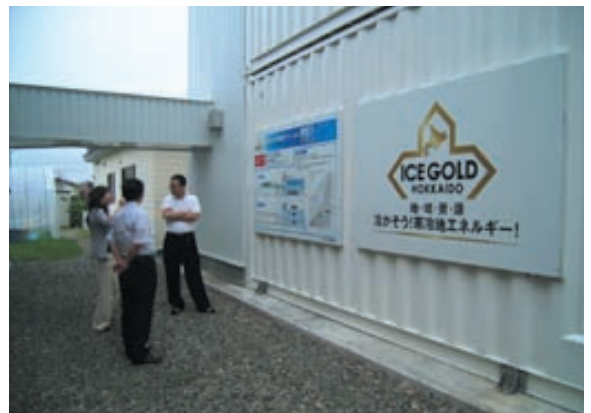
2009年 1月



インタビューは会長の自宅兼事務所で



「遊～遊～村」に完成した遊び場



冬場の雪氷をコンテナに詰めて冷房のエネルギーに